NEXCO西日本の成り立ちと高速道路事業のスキーム

NEXCO西日本の成り立ち

当社は、日本道路公団の分割・民営化により2005年10月1日に設立されました。高速道路資産とその債務は高速道路機構が保有し、高速道路会社各社は、高速道路機構から資産を借り受け、運営管理を担っています。

民営化前

日本道路公団

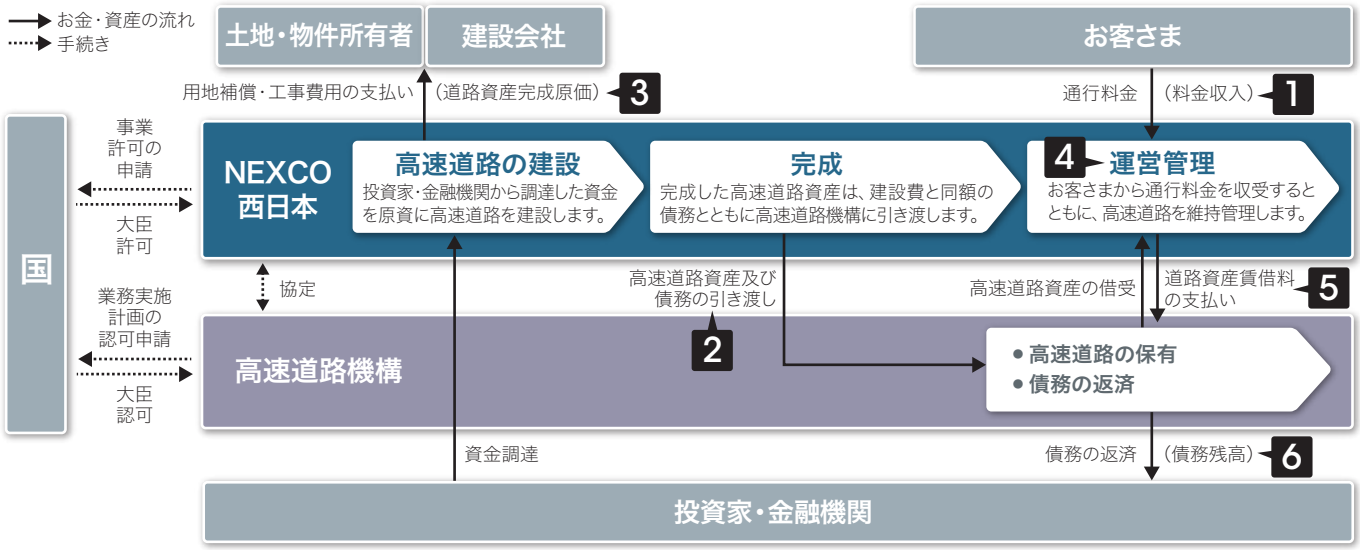
民営化後

NEXCO3会社（西・中・東）	高速道路の建設・管理運営・料金収受
高速道路機構	高速道路の保有・債務返済

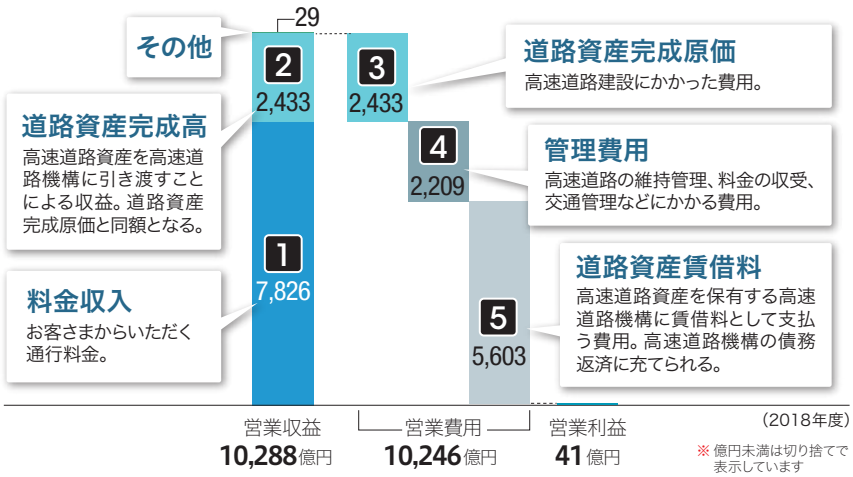
民営化の目的

1. 旧道路関係4公団合計で、約40兆円にのぼる有利子債務を確実に返済すること。
2. 必要な道路を、会社の自主性を尊重しつつ、早期に、できるだけ少ない国民負担のもとで建設すること。
3. 民間企業のノウハウを発揮し、多様で弾力的な料金設定を実現し、お客さまに多様なサービスを提供すること。

高速道路事業のスキーム

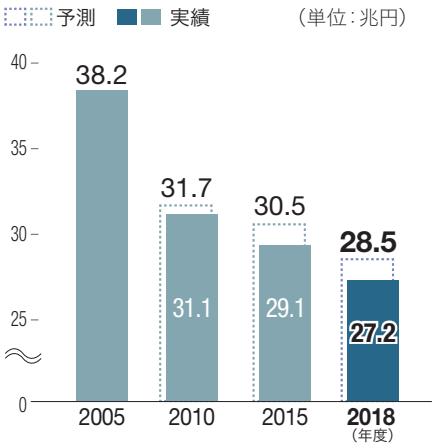


高速道路事業の損益※（1 2 3 4 5）



※ 億円未満は切り捨てで表示しています

高速道路機構の債務残高※（6）



※ 全国路線網（NEXCO3会社）、首都高速道路、阪神高速道路、本州四国連絡高速道路、および全国路線網以外の一般有料道路を含む